学舎の今昔

1―1　多田級

桜の木の下で
期待と不安の中学校
生活がスタート。
ピカピカの１年生

給食　ある日の献立
ご飯 五目きんぴら 納豆
たれ付き肉団子(２個)
牛乳 大根のみそ汁

楽しそうだな！今時の多賀中

勉強・部活・習い事に塾。大忙しの中学生、目いっぱい頑張っています！
振り返ってみましょう中学生だった頃…今とはだいぶ違っていますね。

修学旅行　5/30～6/1→
奈良・京都方面
京都ではグループごとにタクシーで名所旧跡を観光。金閣寺・二条城・清水寺・平安神宮・嵐山・映画村・忘れてはならない北野天満宮…宿では恒例の枕投げ？？？

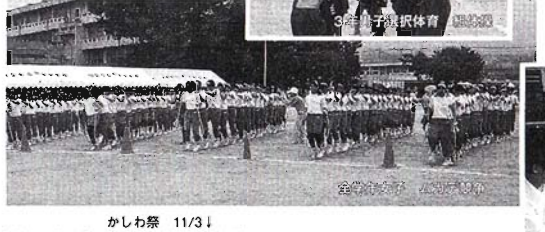
マナーアップ運動
生徒・保護者・先生が一緒に挨拶運動

二学年職場体験　6/30 7/1
70の事業所の協力で、社会人体験も楽しいけど初めての経験に身も心も疲労のピーク。
大人は大変だなぁ…

市内・県北・県総体！
市内総合第２位　男テニス部関東大会出場
受け継がれている「多賀中魂」は健在！
秋の新人戦も市内総合２位をキープ。
これからの活躍が益々楽しみ！

体育祭　9/5↓→
「FULL　POWER
～勝利の道を駆け抜けろ～」
をスローガンに学年クラス対抗。
女子ムカデ競争、男子人間機関車、３年男子夏男バンザイ、３年女子へんし～ん、等々。一見の価値あり！来年は忘れないで来て、どんな競技か確かめて。

一学年心ゆたかな体験学習
6/18・19　西山研修所
原子力資料館見学と河原子海岸で砂の造形
やっと慣れた中学校。さらに自覚と連帯感を高めよう！



かしわ祭　11/3↓
合唱コンクール　学年が上がるに連れて深みを増すハーモニー。３年生の歌声は圧巻！午後はアトラクションで隠れた才能を発揮。壁画は毎年、美術部が作製。

道徳授業。班で学習

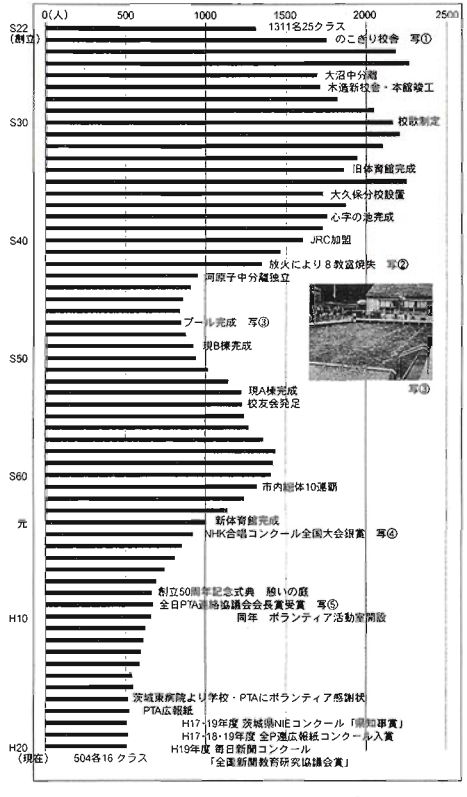
中学生ロボコン　11/30！
関東甲信越大会(新潟)出場
選択技術３年生チーム４名が２台のロボットを設計・製作・操縦。テニスボールと空き缶を、時間内に多く、自分の陣地に運んだ方が勝利。もちろん、相手陣地から取り出してしまうのもOK！

関東中学駅伝大会
19位　12/6→
昨年の男子に引き続き、今年は女子が出場。（山梨大会）選手は部活と駅伝練習を両立。苦しい練習を乗り越え、次に襷をつなぐ。
全国都道府県対抗女子駅伝に出場
（中学生区間）

写①

昭和23～28年 のこぎり校舎をバックに卒業写真

生徒数の変化～ピーク時の４分の１以下に～
ふり返ってみよう！主な出来事



校友、いつまでも！

初代校友会会長　現顧問
昭和25年度(第４回)卒業　森秀男

(株)山森会長。茨城県行政改革推進懇談会委員、茨城県日中友好協会会長代行、その他要職多数。地域発展のため活躍中。

今から60年前、私が中学二年の時、多賀中が開校しました。当時、工場跡ののこぎり屋根の校舎は雨漏りがひどく、グランドにはコンクリートがゴロゴロとあり、放課後には先生と生徒が一緒に片付けの作業に精を出しました。「この塊がコッペパンだったらなぁ」と、友と話し合ったこと等、懐かしく思い出されます。

そして、当時から勉強の他にクラブ活動も盛んで、私自身もバスケや野球部の主将を務め、県北で優勝したり、相撲大会で一位になったりした時の感激を今でも覚えています。

（後にグランドの隅に土俵も作られ今までに大相撲の関取を四人も誕生させた中学は全国でも稀なことです。）

また、生徒会役員が中心になって、大人達の選挙の棄権防止に「皆さん投票に行きましょう!!」と自転車でメガホン片手に連呼したこと等、今では考えられない活動もしました。充分な食べ物もない時代でしたが生き生きとした中学生活でした。

私も充実した多賀中時代それを基礎にした学校で学んだおかげで、現在でも世のため、人のため、そしみながら働かせて頂いております。生涯が学びと実践の場と心得ております。

また、同じ学校で学んだ仲間同士『校友』として、いつまでも友であり貴重な存在であることも経験し感謝しております。

終わりに、校友会の益々のご発展とご活躍を祈念申し上げます。

写③

写②

写⑤

写④

地域社会に役立つ活動を！

第二代校友会会長　現顧問
昭和25年度(第４回)卒業　山本忠安

日立商工会議所十代目会頭として、地域産業活性化に尽力中。
平成20年に『旭日小綬章』を叙勲される。

この度、産業振興に貢献したとして旭日小綬章を受賞いたしました。身に余る光栄であり、校友はじめ関係者の皆さまのおかげと感謝いたしております。これは、商工会議所並びに保護司活動が評価されての受賞と思います。

ふり返りますと、私と商工会議所との関わりは34年前の昭和48年からでした。常議員となって以来、工業部会や産業振興委員会に所属し、その後、平成13年11月からは十代目会頭として、会議所活動等に関わってきました。この間、諸先輩や仲間・会員・議員・役員・職員の助けを借りながら、いくつかの事業を達成することができ、このことが今回の受賞に繋がったものだと思っています。

また、昭和49年から34年間保護司として、また保護司会の理事・副会長として更生保護に微力ながら貢献できたことも幸いしました。

５月９日、東京プリンスホテルで叙勲伝達式に続いて皇居『春秋の間』で陛下に拝謁、お言葉をいただいた時は大変感激致しました。皇居内での一つ一つは我が人生のよい思い出となることと思います。

今後、商工会議所会頭として残り二年、この栄誉を汚すことなく地域産業の活性化のため地域社会のため少しでもお役に立っていきたいと思います。

更なる飛躍を目指して

第23代現多賀中学校長　外岡利治

昭和55年３月、森初代会長が起こし、第二代山本会長、第三代小野会長と引き継がれた「多賀中学校校友会」は、四半世紀以上の歴史を重ねました。この間、生徒達が活動するための補助金や卒業生に対する記念品の贈呈、本校の健全なる発展に関わって頂き感謝申し上げます。

創立以来62年、在籍生徒の活躍と保護者や地域の方々、校友会や関係機関の皆さまのご理解とご支援により『多賀中学校ここにあり』を県内だけでなく関東・全国に示してまいりました。全国視聴覚教育研究発表会会場、ＮＨＫ合唱コンクール全国大会で銀賞受賞、陸上・水泳・バレー・サッカー・テニスなど様々な種目で関東や全国大会に出場。ＰＴＡ広報紙コンクールで全国新聞教育研究協議会賞や県知事賞を受賞するなど輝かしい実績を残しました。

非行・いじめが大きな社会問題となり教育を取り巻く環境が大きく変化している中、生徒は、「まじめ・明るい・礼儀正しい・純粋・伝統を引き継いでいる・課題に一生懸命取り組む・場をわきまえた行動ができる」等の素晴らしい特徴を見せています。

改革の時代でありますが、先輩方のご支援を頂きながら、確かな学力・豊かな心・健やかな体などの「生きる力」を育み21世紀を担う生徒、更なる飛躍を目指す多賀中学校にしたいと思います。

創刊号発行に当たり、校友会の益々の発展と卒業生を始め関係各位のご健勝をご祈念申し上げます。